

報道関係者各位

2025年6月26日



イオンモール高崎 × 高崎商科大学 連携事業 — イオンモール CDP(コミュニティデザインプロジェクト) — 群馬集結祭～思い描いた文化祭を現実に～

■イベント概要

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部(所在地:群馬県高崎市、学長:築雅之、以下本学)社会連携センターは、イオンモール高崎と連携した**学生考案のイベント**「群馬集結祭」を開催します。

本イベントでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思い描いた文化祭を経験できなかった学生たちが中心となり、イオンモール高崎を舞台に**“オリジナルの文化祭”**を開催します。群馬県内の大学・高校・専門学校、合計8校(本学含む)が一堂に会し、それぞれの個性を生かしたパフォーマンスや展示を披露します。

【パフォーマンス一例】

- 高崎ビューティモード専門学校によるワインディング(パーマ)パフォーマンス
- 新島学園中学校・高等学校 聖歌隊による歌唱とハンドベル
- 東日本調理師専門学校製作 マカロンタワーの展示

日時：**7月5日(土) 10:30～16:40** ※詳細は別途チラシにてご確認ください

場所：イオンモール高崎

専門店街 1F セントラルコート・イーストコート、専門店街 2F イオンホール

住所：群馬県高崎市棟高町 1400 番地

共催：イオンモール株式会社

出演：高崎商科大学附属高等学校、新島学園中学校・高等学校、前橋育英高等学校、明和県央高等学校、群馬県美容専門学校、高崎ビューティモード専門学校、東日本調理師専門学校

指導：高崎商科大学 商学部経営学科

学科長 教授 松元 一明(社会学・地域政策専門)

■プロジェクト概要

今年で8回目となる「イオンモールコミュニティ・デザイン・プロジェクト」は、本学とショッピングモールの開発と運営を主軸とするイオンモール株式会社とが連携し、単なる「ショッピングモール」ではなく、「人と人の繋がりを創り出し、コミュニティを創出する」ことを目的に、大学生がイベント企画を考え運営する企業連携プロジェクトです。

今年は大学と短大から10名、全3チームが参加。プロジェクト参加学生は、昨年11月より松元学科長指導のもと、まちづくりやモノコト消費の考え方を学んだ上で企画を考えました。4月12日(土)にはイオンモール株式会社から3名の審査員を迎え、企画提案プレゼンテーションを実施。厳正な審査の結果、「群馬集結祭」が採択されました。

質的調査や立案、企画提案からイベント実施までの実際のプロセスを、学生が主体となって行うことで、授業で学んでいる知識や理論を実践的に学ぶことのできるPBL型(課題解決型学習)プログラムとなっています。ビジネスと社会についての学びを深化させることができるのも、本プロジェクトの魅力です。

▽プロジェクトリーダー・松元 一明 学科長による講義



▽本学の教員へ向けたプレプレゼン



▽イオンモール高崎様との打ち合わせ



▽企画立案のワーク



▽イオンモール高崎様へ向けた本番プレゼン



▽昨年のイベント「タックスヒーローズ」の様子



【3.5本の矢プロジェクト】

「3.5本の矢プロジェクト」は、革新的な社会活動を行う企業と連携し、次世代を担う学生たちを育成する取り組みです。アドビシステムズ株式会社、楽天株式会社、株式会社電通の企業3社を3本の矢と見立て、成長の可能性を秘めた0.5本の矢である学生を4本目の矢として世に放つというコンセプトのもと「3.5本の矢」と命名しました。2016年より開始、現在では提携企業が増加し、3社を超えた複数企業と、さまざまなコラボレーション講義を実施しています。



3.5本の矢プロジェクト公式



<本件に関するお問い合わせ>

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 社会連携センター 〒370-1214 群馬県高崎市根小屋町 741

本件担当：産学連携グループ 迫田・北村・岡部

TEL : 027-347-3350(直通) / E-MAIL : renkei@uv.tuc.ac.jp / URL:<https://www.tuc.ac.jp>